

FX-22 で S.BUS サーボを設定

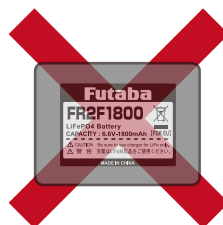
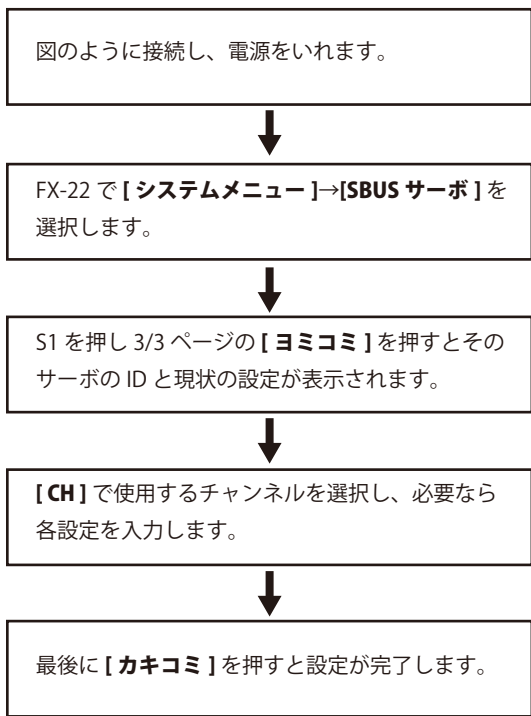
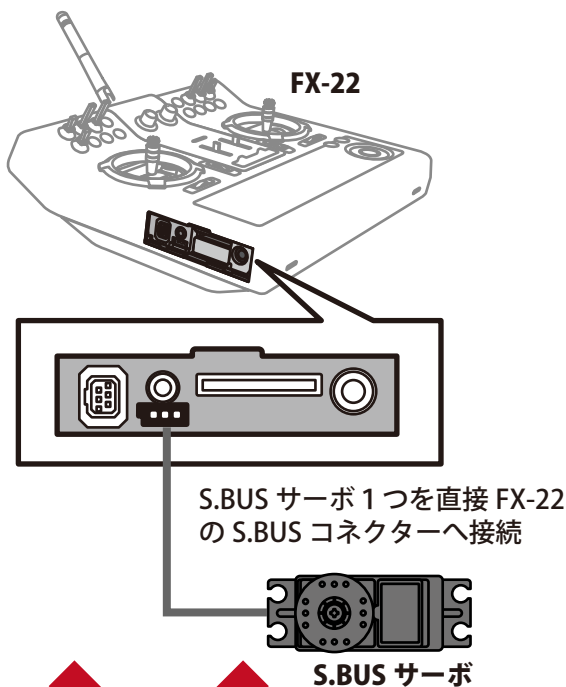
FX-22 送信機裏側の S.BUS コネクターに S.BUS サーボを接続することで、従来はパソコンが必要だった S.BUS 機器の設定が送信機画面上で行えます。

FX-22 の S.BUS 接続例

S.BUS レシーバー + S.BUS サーボを使用する場合

S.BUS サーボの設定 (サーボ一つの場合)

S.BUS サーボはサーボ自身でチャンネルの他、各種設定を記憶することができます。
図のように配線すると FX-22 の画面上で、各 S.BUS サーボの設定ができます。



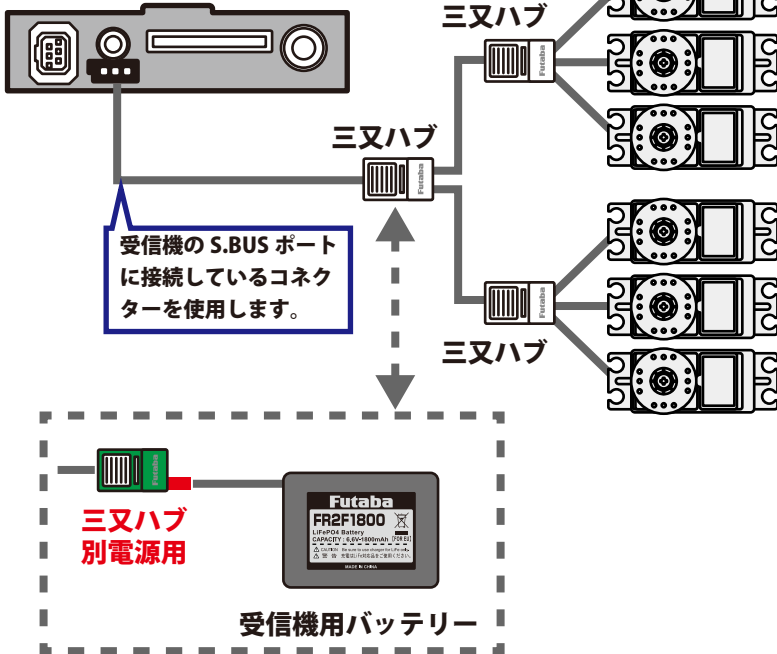
! 18MZ や 14SG のように受信機用バッテリーを FX-22 に二又接続する必要はありません。
バッテリーを接続すると送信機が故障します。

S.BUS サーボ		1/3
使用するチャンネルの設定	CH 1	ID 000 - 00000 INH
接続されたサーボの ID	トランスミッター	100.0 % 100.0 %
単品接続では ID が自動で表示	ニュートラル	+ 0.00 トゥ
単品接続では INH にする	フカンタイ	0.16 トゥ
	スピード	INH

複数の S.BUS サーボ接続（機体にサーボを搭載済の場合など）

S.BUS サーボにはそれぞれ ID ナンバーが記憶されています。機体に搭載済の複数の S.BUS サーボの中の 1 つを設定変更したい場合、そのサーボの ID を入力すれば、複数接続されたままで希望のサーボのみ設定できます。

FX-22 S.BUS コネクター



※多数の大電流を消費するサーボを送信機に接続すると電源容量が不足する場合があります。その場合、「三又ハブ別電源用」を使用して、別電源でサーボに電源供給してください。

- 図のように接続し、電源をいれます。
- ↓
- FX-22 で [システムメニュー] → [S.BUS サーボ] を選択します。
- ↓
- 複数のサーボを同時に接続し、画面の ID ナンバー右側にある [INH] を [ACT] にします。
- ↓
- 設定したいサーボの ID を入力して [ヨミコミ] を押し、各項目の設定をします。
- ↓
- 最後に [カキコミ] を押しと設定が完了します。

※設定したいサーボの ID を事前に控えておく必要があります。

設定したいサーボの ID
を入力する

INH → ACT にする

S.BUS サーボ		1/3
CH 1	ID 000 - 00000	ACT
トラベル	100.0 %	100.0 %
ニュートラル	+ 0.00 ト	
フカンタイ	0.16 ト	
スピード	INH	

※使用する S.BUS サーボにより、使用できる機能とできない機能があります。